

令和5年6月27日

ノーザン・エッジ23-2における岩国飛行場への一時展開について

このことについて、本日（27日）、中国四国防衛局から説明があり、これを受けて、要請を行いましたので、下記のとおりお知らせします。

記

- 1 日 時 令和5年6月27日（火）15時30分
- 2 相手方 中国四国防衛局長 今給黎 学（いまきゅうれい まなぶ）
- 3 対応者 岩 国 市 長 福田 良彦（ふくだ よしひこ）
- 4 国の説明内容 ※裏面 防衛省説明資料参照
 - 岩国基地において、米軍が7月2日（日）から7月21日（金）までに予定しているノーザン・エッジの訓練を実施するため、6月28日（水）以降、米軍三沢基地所属の戦闘機F-16が12機程度、米軍嘉手納基地所属の戦闘機F-15Eが12機程度、岩国基地へ展開する予定
 - 一方で、7月2日（日）から7月21日（金）までの間、米軍岩国基地所属のFA-18C/Dが12機程度嘉手納基地へ展開する予定
 - また、7月7日（金）から7月14日（金）までの間、岩国基地へ展開したF-15Eが7機程度築城基地へ、2機程度硫黄島へ展開する予定
 - 訓練期間中は、訓練空域に移動し、空対空戦闘訓練などを実施する予定であり、これまでに米側よりもたらされている情報によれば、移動のため、土日及び深夜に離着陸を行う可能性があるかと認識している。
 - 日程や機数は現時点のものであり、変更される可能性がある。展開してきた米軍戦闘機が撤収するまでの間、物資輸送等のため米軍輸送機（C-130又はC-17）が飛来することがあるが、当日中に撤収する予定
 - 本訓練に関連して、岩国飛行場に艦船が入港する予定はない。また、岩国飛行場においては、現時点で米軍と航空自衛隊の共同訓練を実施する予定はなく、米国以外の第3国軍が参加する予定もない。
 - 防衛省としては、展開する米軍戦闘機について、岩国日米協議会における確認事項の遵守や、土日及び深夜の飛行訓練を控えるよう申し入れており、今般の一時展開による地元への影響が最小限となるよう、引き続き努めてまいる。

5 国への要請内容（口頭要請）及び回答

【要請内容】

- 訓練の実施に当たっては、日米合同委員会合意や岩国日米協議会における確認事項の遵守など、騒音対策や安全対策に万全を期すること。
特に、深夜の離着陸について、地元の負担を考え、最終離着陸時間が滑走路運用時間内の23時までとなるよう努めること。
- 今回の展開期間が、なし崩し的に延長されることがないようにすること。

【回答内容】

要請のあった事項も踏まえ、日米間で連携を図りながら、引き続きしっかり対応してまいる。

令和5年6月27日
防衛省**ノーザンエッジ23-2における岩国飛行場への一時展開について****意 義**

- ノーザン・エッジ23-2は、令和5年7月に、米軍が太平洋地域において計画している大規模演習であり、その一環として、日本国内の複数の自衛隊基地や米軍基地への機動展開訓練等を予定。
- 各基地において米軍展開部隊を受入れ、共同での即応能力を向上させるとともに、空自と米軍展開部隊等による共同訓練を予定しており、部隊の戦術技量及び日米共同対処能力の向上を図る。

訓練概要

- 訓練期間：令和5年7月2日（日）～7月21日（金）
- 展開拠点：岩国飛行場、嘉手納飛行場
- 展開機種：
 - 【岩国飛行場へ展開】
 - ・ F-16 12機程度
 - ・ F-15E 12機程度
 - 【岩国飛行場からの展開】
 - ・ FA-18 12機程度（嘉手納飛行場へ展開）
 - ・ F-15E 9機程度（築城基地及び硫黄島基地へ展開）

防衛省の対応

- 防衛省としては、展開する米軍戦闘機について、岩国日米協議会の確認事項の遵守等を申し入れており、今般の一時展開による地元への影響が最小限となるよう引き続き努めてまいります。